サポート情報記事

List Filter Online と組み込みの [リスト] Web パーツの違い

2026 © Vitextra SIA. 無断転載を禁じます。

免責事項

本免責事項の適用上、次のとおり定義します。

- **会社** (本免責事項では「当社」と表記します) とは、Vitextra SIA (Matīsa iela 61-25, Rīga, LV-1009, Latvia) を指します。
- **本ドキュメント**とは、ナレッジベースの記事を指します。
- **お客様**とは、本ドキュメントにアクセスする個人、または該当する場合は、その個人が本ドキュメントにアクセスまたは使用する際に代理となっている会社その他の法人を指します。
- **本 Web サイト**とは、https://vitextra.com からアクセスできる Vitextra を指します。

免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、一般的な情報提供のみを目的としています。

当社は、本ドキュメントの内容における誤りや脱漏について、一切責任を負いません。

いかなる場合も、契約上の訴訟、過失、その他の不法行為上の訴訟であるかを問わず、本ドキュメントの内容の使用に起因または関連して生じる、特別損害、直接損害、間接損害、結果的損害、付随的損害、またはその他一切の損害について、当社は責任を負いません。当社は、事前の通知なく、いつでも本ドキュメントの内容に追加、削除、または変更を行う権利を留保します。

誤りおよび脱漏に関する免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、関心のある事項に関する一般的な指針を示すことのみを目的としています。そのため、本ドキュメントの内容を最新かつ正確に保つために当社があらゆる予防措置を講じている場合でも、誤りが生じる可能性があります。また、法律、規則、規制は変化するため、本ドキュメントに記載されている情報に遅れ、脱漏、または不正確な点が含まれる場合があります。

当社は、誤りや脱漏、またはこの情報の使用によって得られた結果について、責任を負いません。

フェアユースに関する免責事項

当社は、著作権者から明示的な許可を得ていない著作物を使用する場合があります。当社は、批評、論評、ニュース報道、教育、学術研究、または調査の目的で、そのような資料を提供しています。

当社は、これが、米国著作権法第 107 条に規定されている、当該著作物の「フェアユース」にあたると考えています。

お客様が、フェアユースの範囲を超えて、ご自身の目的で本ドキュメントの著作物を使用することを希望される場合は、著作権者から許可を得る必要があります。

「自己責任での使用」に関する免責事項

本ドキュメントのすべての情報は、完全性、正確性、適時性、またはこの情報の使用によって得られる結果について何ら保証することなく、また、性能、商品性、特定目的への適合性に関する保証を含むがこれらに限定されない、明示または黙示を問わずいかなる種類の保証もなく、「現状のまま」提供されます。

当社は、本ドキュメントに記載されている情報に依拠して行われた判断や措置、または結果的損害、特別損害、もしくはこれらに類する損害について、たとえそのような損害の可能性について知らされていた場合でも、お客様またはその他の者に対して責任を負いません。

お問い合わせ

本免責事項についてご不明な点がある場合は、メール (support@vitextra.com) でお問い合わせください。

目次

概要 4

組み込みの 4

List Filter Online の概要 5

並べて比較 6

組み込みの **Web** パーツで十分な場合 9

List Filter Online のほうが適している場合 10

併用する 10

知っておくと便利なこと 11

用語 12

概要

モダン **SharePoint** ページでは、組み込みの **]** Web パーツと **]** Web パーツを使ってリストやライブラリを表示できます。これらは無料で、リストとビューを選ぶ以外の設定は不要であり、多くのページにはまさに適切な選択です。では、別の Web パーツを使う価値があるのはどのような場合でしょうか。

この記事では、組み込みの Web パーツと **Vitextra List Filter Online** を並べて比較します。どちらも SharePoint **REST API** を通じて同じリストとライブラリを読み取り、同じアイテム権限に従います。違いは、**ユーザーがどのようにデータを見つけるか** (フィルター ウィンドウ、定義済みクエリ、ページング)、**ビューのどれだけをリストの設定ではなくページ上で構成できるか**、そして**大きなリストで何が起きるか**にあります。この比較は、組み込みの Web パーツで十分な場合、List Filter Online のほうが適している場合、そして両者を同じページで併用する方法を判断するのに役立ちます。

メモ

Microsoft はモダン リストのエクスペリエンスを定期的に更新しています。組み込みの Web パーツに関する記述は、2026 年時点で Microsoft のドキュメントに記載され、Microsoft Tech Community で報告されている動作を反映しています。最新の詳細は Microsoft の現在のドキュメントで確認してください。

組み込みの

リスト] Web パーツ (およびその対となる **ドキュメント ライブラリ]** Web パーツ) は、**現在のサイト**にあるリストの**既存のビュー**をページに埋め込みます。ページ編集者はリストとビューを選び、コマンド バーと *すべて表示]* リンクを表示するかどうかを決め、Web パーツのサイズを選択します。それ以外のすべて - 表示する列、アイテムの並べ替えとグループ化、アイテム数の上限、ビューのフィルター - は、ページ上ではなく**リストのビュー設定**で定義されます。

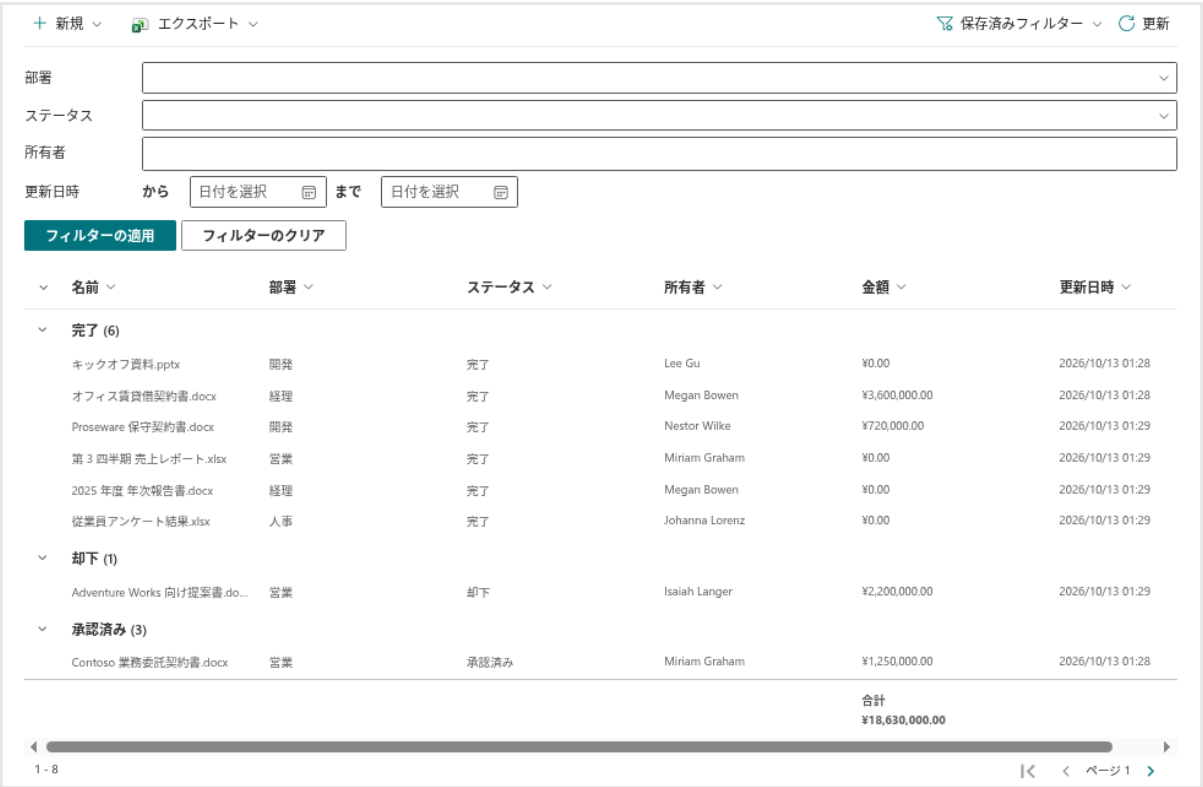
ユーザーは、リストそのものと同じ方法で埋め込まれたビューを操作します。列見出しのメニューで並べ替えとフィルターを行い、**フィルター]** ウィンドウでビューに存在する値によって結果を絞り込み、**列の書式設定 JSON** が描画されま

す。Web パーツは、動的フィルター処理 (一方のリストでアイテムを選択すると、もう一方がフィルターされる) のためにページ上の別の [リスト] Web パーツに**接続**でき、[リストのプロパティ] Web パーツにも接続できます。

組み込みの Web パーツが提供**しない**のは、ページ上に存在するフィルターです。ページ レベルの定義済み条件はなく、ウィンドウ以外のフィルター コントロールもなく、アドレスを通じてフィルター済みの状態でページを開く方法もありません。

List Filter Online の概要

List Filter Online は、独自の**フィルター ウィンドウ**、定義済みフィルターのための **Query Builder**、**列の構成ツール**、サーバー側の**ページング**、**集計**付きのグループ化、**Excel エクスポート**を備えてリストまたはライブラリを表示する Web パーツです。これらはすべて、リストの設定に触れることなく、ページ編集者が Web パーツのプロパティ ウィンドウで構成します。



ページ上の List Filter Online: フィルター ウィンドウ、集計付きのグループ化された結果、ページャー

Web パーツはリスト ビューを再利用する代わりに、3 つのソース - Query Builder の定義済みフィルター、ユーザーが選択したフィルター、並べ替え・グループ

化・ページングの設定 - から独自の **クエリ**を組み立てます。クエリはサーバー側で実行され、一度に 1 ページ分のアイテムを返します。

並べて比較

	組み込みの	**Vitextra List Filter Online**
表示されるもの	既存のリスト **ビュー**。列、並べ替え、グループ化、フィルターはビューの設定に従う	列、見出し、書式、並べ替え、グループ化、フィルターを Web パーツで構成。既存のビューは使用しない
ソース リスト	**現在のサイト**のリストとライブラリのみ	ユーザーがアクセスできるテナント内の任意のサイト コレクションまたはサイト。Web パーツごとに 1 つのリストまたはライブラリ
定義済みフィルター	ビューのフィルター: AND/OR で最大 10 条件、入れ子のグループなし。動的な値は `[Me]` と `[Today]` ± 日数	Query Builder: 入れ子にできる AND/OR グループの条件。動的条件 *現在のユーザーである、今日、過去 / 次のX日間、週間、か月、年*。ユーザーは解除できない (KB10320)
ユーザー フィルター	列見出しのメニューと、ビューに存在する値を一覧表示する [フィルター] ウィンドウ	10 種類を超えるコントロール (テキスト、ドロップダウン、コンボボックス、ユーザー選択、用語の選択、日付、日付範囲、数値、はい/いいえなど) を備えた構成可能なフィルター ウィン

	組み込みの	Vitextra List Filter Online
		ドウ。各列に適したコントロールを割り当て可能。コントロール間の連動はオプション (KB10255、KB10256)
ページ アドレスからのフィルター	ページ上の Web パーツではサポートされない	**フィルターへのリンクをコピー]** で、フィルターが適用された状態でページを開くアドレスを生成。最後のフィルターをユーザーごとに記憶可能 (KB10253)
ネイティブ リストからの起動	-	ネイティブ リストのコマンド バーにある **Open in List Filter** コマンドが、選択したアイテムを Web パーツのあるページに渡す (KB10254)
ページング	バッチ単位の連続スクロール。ビューの *アイテム数の上限* はページとしては適用されない	構成可能なページ サイズ、現在のページ番号、*最初* / *前へ* / *次へ* のナビゲーションを備えたサーバー側ページング
列	ビューのとおり	Web パーツで選択して順序を設定。列ごとに見出し、書式、サイズ変更 / 並べ替え / フィルター / アイテムへのリンクの可否 (KB10258)
列の書式設定 **JSON**	はい	はい - リストの書式設定が適用される。サポート

	組み込みの	Vitextra List Filter Online
		されない構文は既定の描画にフォールバック (KB10259)
グループ化と集計	ビューのとおり (最大 2 レベル、ビューごとの集計)	グループ化用の列を 2 つ設定できますが、見出しが表示されるのは第 1 レベルのみです。個数、合計、平均、最小、最大などの関数をページ上で構成 (KB10260)
フォルダー	ビューのフォルダー ナビゲーション	階層リンク付きのフォルダー ナビゲーション、フォルダーなしのフラット ビュー、またはファイルとフォルダーを同じ階層に表示。フォルダーの色分け (KB10261)
Excel エクスポート	リストの *エクスポート]* コマンドでビューをエクスポート	選択したアイテム、現在のページ、またはフィルター済みのすべてのアイテム - 適用中のフィルターと構成済みの列を反映
大きなリスト **(5,000** アイテム超**)**	ビューのしきい値が適用され、インデックスのないフィルターは実行時に失敗する	同じしきい値が適用されるが、構成ツールがインデックスのないフィルター列について警告し、その場でインデックスを作成 (KB10257)
他の **Web** パーツへの接続	[リスト] Web パーツ間および [リストのプロパ	サポートされない

	組み込みの	Vitextra List Filter Online
	ティ] Web パーツとの動的フィルター処理	
折りたたまれたグループ	はい	読み込み時は展開されます。ユーザーによる手動の折りたたみは可能ですが、初期状態の設定には対応していません
権限	リストのアイテム権限	リストのアイテム権限。SharePoint REST API のみを使用し、**Microsoft Graph** の同意は不要
ブランド	**Microsoft 365** の外観	サイトとセクションのテーマに従う
コスト	Microsoft 365 に含まれる	無料試用版付きの別製品

組み込みの Web パーツで十分な場合

次の場合は、組み込みの Web パーツのままで問題ありません。

- リストが小規模または中規模で、**既存のビュー**がページに必要なものをすでに表示している。
- 利用者がリストをよく知っていて、**列見出しのメニュー**と [フィルター] ウィンドウの操作に慣れている。
- ページ上の **2 つの Web パーツ間の動的フィルター処理**が必要 - これは組み込みの Web パーツにはあり、List Filter Online にはない機能です。
- テナントにアプリを追加せず、Microsoft 365 が提供する範囲内に厳密にとどめる必要がある。

このような場合、リストの設定でビューをもう 1 つ作成するのが最も低コストな解決策であり、組み込みの Web パーツはそれを忠実に表示します。

List Filter Online のほうが適している場合

リストではなくページがエクスペリエンスを決めるべき場合は、List Filter Online を選んでください。

- **フィルターがページの一部である。** 「自分の契約」「今四半期」「承認待ち」といったページには、ハードコードされた日付ではなく動的条件で組み立てられ、ユーザーが解除できない定義済みクエリが必要です。
- **ユーザーに本格的なフィルター コントロールが必要である。** 所有者にはユーザー選択、署名日には日付範囲、カテゴリには用語の選択を使うほうが、数百の値が並ぶ見出しメニューよりも速く、誤りも少なくなります。
- **リストが別のサイトにある。** ハブ ページや部署のページで、別のサイト コレクションのライブラリのデータを表示する。
- **リストが大きい。** サーバー側ページングとインデックス警告は大規模なライブラリで役立ちます。ただし、50,000 アイテムのライブラリでの利用可否は、インデックスとクエリの絞り込み条件に依存します。
- **フィルターを共有する必要がある。** フィルターが適用された状態でページを開くリンクは、チャットで送信したり、[クイック リンク] Web パーツに配置したりできます。
- **ページ独自の列と集計が必要である。** ページごとにビューを作成して保守する必要がありません。

警告

List Filter Online は既存のリスト ビューを使用せず、他の Web パーツに接続することもできません。そのどちらかがページに不可欠な場合は、ページのその部分には組み込みの Web パーツを使用してください。

併用する

2 つの Web パーツは排他的ではありません。よくあるパターンは次のとおりです。

- チーム ページの上部に**ドキュメント ライブラリ] Web パーツ**を置き、既定のビューで素早いアップロードと日常の作業に使う。
- その下、または別の「ドキュメントを探す」ページに **List Filter Online Web パー**

ツを置き、フィルター ウィンドウ、定義済みフィルター、エクスポートを用意して、数千件の中から特定のアイテムを見つける必要がある人に使ってもらう。

Open in List Filter コマンドが 2 つをつなぎます。ネイティブ リストから作業を始めたユーザーがアイテムを選択し、より豊富なフィルター機能を持つページで作業を続けられます。



ネイティブ ライブラリの Open in List Filter コマンド

知っておくと便利なこと

- どちらの Web パーツも**現在のユーザー**としてデータを読み取ります。ユーザーがリストで開けないアイテムは、どちらにも表示されません。
- List Filter Online がデータを表示するには、**サイト**、**リストまたはライブラリ**、**列**の 3 つの設定が必要です。それ以外はすべてオプションです。
- 5,000 アイテムのビューしきい値は **SharePoint Online** の特性であり、どちらの Web パーツにも適用されます。違いはそれを知るタイミングです。組み込みの Web パーツでは実行時に、List Filter Online ではフィルターの構成中に分かります。
- List Filter Online が送信する正確なクエリを確認するには、プロパティ ウィンドウで**開発者モード**をオンにして **CAML クエリ]** コマンドを使用します。フィルターが期待どおりの結果を返さないときに役立ちます。

ヒント

List Filter Online を試すには、KB10251. List Filter Online のインストールとページへの追加方法 の説明に従って **AppSource** からインストールし、次に KB10201. List Filter Online Web パーツの構成 の手順を実行してください。ソリューションの概要は KB10250. List Filter Online: ソリューションの概要 にあります。

用語

AppSource
Microsoft AppSource は、Microsoft 365、Dynamics 365、Power BI、Power Platform、その他の Microsoft サービス向けに作成されたアプリケーションとサービスを扱う、グローバルなオンライン マーケットプレースです。AppSource では、アプリケーションを検索、購入し、組織のテナントに展開できます。

JSON
JSON (JavaScript Object Notation) は、人間が読み書きしやすく、ソフトウェアが解析および生成しやすい、軽量なテキストベースのデータ交換形式です。構造化データを交換するために、REST API、構成ファイル、Web アプリケーションで広く使用されています。

Microsoft 365
Microsoft 365 は、Word、Excel、PowerPoint、Outlook などの生産性アプリと、SharePoint、OneDrive、Teams、Exchange Online などのクラウド サービスを、高度なセキュリティおよびデバイス管理と組み合わせた、クラウドベースのサブスクリプション サービスです。

Microsoft Graph
Microsoft Graph は、Microsoft Entra ID (旧称 Azure Active Directory) と OAuth 2.0 で保護された REST API です。SharePoint、Outlook、OneDrive、Teams など、Microsoft 365 のデータやサービスにアクセスするための単一のエンドポイントを提供します。

REST API
REST API (Representational State Transfer Application Programming Interface) は、ソフトウェア アプリケーションがインターネット経由で通信するための標準化された方法です。クライアントは、GET、POST、PUT、DELETE などの標準的な HTTP メソッドを使用して、サーバー上のデータを要求したり操作したりできます。REST API は、スケーラブルで柔軟性が高く、さまざまなクライアント アプリケーションからアクセスできる Web サービスの構築に広く使用されています。

SharePoint

用語

SharePoint は、コンテンツ管理、ドキュメント管理、ワークフロー アプリケーション、検索、その他のツールを提供する Web ベースのコラボレーション プラットフォームで、従業員やチームが共同で作業できるようにします。SharePoint は、共有情報を保存、整理、アクセスするための安全な場所でもあります。

SharePoint Online

SharePoint のクラウド版で、Microsoft 365 内の Web ベースのコラボレーション プラットフォームです。組織のデジタル情報、コンテンツ、ナレッジを保存、共有、管理するための幅広い機能を提供します。

Web パーツ

Web パーツは、SharePoint ページに配置される機能やコンテンツの主要な構成要素です。Web パーツの中には、Web パーツの構成や外観の変更など、カスタマイズをサポートするものがあります。

ビュー

ビューは、リストまたはライブラリのどのアイテムをどのように表示するか (列、並べ替え、フィルター処理、グループ化、レイアウトを含む) を決定する、保存された構成です。ビューには、個人用ビューと公開ビューがあります。

列の書式設定

列の書式設定は、JSON 定義を使用して、リストやライブラリのフィールドの表示方法をカスタマイズする方法です。たとえば、コードを記述することなく、アイコン、色付きのインジケーター、リンクを表示できます。